



優秀省エネ脱炭素機器・システム

JMF 一般社団法人 日本機械工業連合会

令和3年度

# 優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰

後援：経済産業省（予定）

## 応募受付開始

日本機械工業連合会では、脱炭素社会の実現に資することを目的に、優秀な産業用の省エネ機器・システム、および脱炭素機器・システムの表彰を行います。同一申請者が複数の機器・システムに応募することができ、共同応募も可能です。

応募  
期間

5月10日（月）～6月30日（水）

### 応募方法

「応募ガイド」、「応募申請書の様式」は5月10日より下記URLからダウンロードができます。



<https://www.jmf.or.jp/commendations/1/2357.html>

6月10日迄、応募予定票を受け付けております。

### 受賞者発表

令和4年1月に当会ホームページおよび新聞にて発表。

問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館5階

一般社団法人 日本機械工業連合会 業務部 多並、中村

電話 (03) 3434-5382

FAX (03) 3434-6698

E-mail t.tanami@jmf.or.jp

nakamura@jmf.or.jp

JMF

検索

## 賞の種類

経済産業大臣賞、資源エネルギー庁長官賞、中小企業庁長官賞、日本機械工業連合会会長賞、さらに今年度より経済産業省産業技術環境局局長賞も授与します。

## 募集機器

産業用に開発し実用化された

### 省エネ機器・システムおよび脱炭素機器・システム\*

\*「脱炭素機器・システム」は、CO<sub>2</sub> 排出抑制に繋がる水素、アンモニア等の原料利用や、炭素除去、CO<sub>2</sub> 有効活用に資する機器・システムで、化石燃料からの脱却を目指した機器・システムを指します。

## 審査、表彰のスケジュール

一次審査（書面審査）	令和3年7月～8月
二次審査（ヒアリング審査）	令和3年9月
三次審査（現地審査）	令和3年10月～11月
受賞者プレス発表	令和4年1月
表彰式	令和4年2月

## 募集対象

省エネ及び脱炭素に資する機器・システムが単体として対象となる他、デジタル技術の活用より関連するサービス業務等を統合した機器・システム全体も対象となります。ただし、機器・システムを含まないサービス業務だけでは対象になりません。

### ●具体的な機種（詳細は「応募ガイド」を参照ください）

- ①はん用機械：ボイラ・原動機、ポンプ、圧縮機、送風機、油圧機器、空気圧機器、運搬機械、産業用冷凍機、産業用ヒートポンプ、熱処理炉、加熱炉など
- ②生産用機械：土木建設機械、化学機械、環境装置、製紙機械、半導体製造装置、産業用ロボット、農業用機械、金属加工機械、プラスチック加工機械など
- ③電気機械：回転電気機械、静止電気機械、開閉制御装置・機器、産業用電気照明器具、電子応用装置、電気計測器など、但し事務用機械は対象になりません
- ④輸送機械：鉄道車両、産業車両、航空機、船舶、トラックなど、但し産業用を用途としない乗用車、船舶、トラック、バスは対象になりません（例：クルーザー）
- ⑤その他：産業用洗濯機・乾燥機、試験機等

### ●脱炭素技術例（詳細は「応募ガイド」を参照ください）

- 火力発電所やバイオマス発電所、工場などで発生するCO<sub>2</sub>の回収や利用する機器・システム
- 水素やアンモニアを燃料とする火力機や、バーナ炉、ボイラなど
- 水素やアンモニアを燃料とする産業用輸送機器、あるいは電力化した産業用輸送機器
- ヒートポンプ等を利用し電力化によりCO<sub>2</sub>排出を削減する機器・システム
- メタネーション、CO<sub>2</sub>吸収コンクリートなどを製造あるいは利用する機器・システム
- アンモニアや水素を製造する機器・システム

（注）風力、太陽光、地熱発電などの再エネ機器と電池は対象になりません。また、CO<sub>2</sub>の生物学的固定方法も対象にはなりません。

